

【参考】交通管理コンテストの効果

	実施日	実施場所	取組内容	具体的な効果
第1回	H19.11.14	岸和田 ヤード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民営化後初 ・ 全社的なコンテストは JH 時代も含めて初 ・ 実技だけでなく、お客さま視点からも審査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常訓練とは別に本選前の予選段階からコンテストに向けた訓練でスキルアップ ・ お客さま対応に関する意識が向上
第2回	H20.10.23	大分 IC ヤード	<ul style="list-style-type: none"> ・ より実践技術に重点 ・ 道路管制センターとの連携を含め審査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場ならではの創意工夫が促進（下記）
第3回	H21.10.21	岩国 IC ヤード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 更なる実践的なコンテストを目指す 	

コンテストで紹介された現場ならではの創意工夫

< 小型カラーコーン >



< 青色 LED 矢印板 >



< 背負う赤旗 >



コンテストによる効果

コンテストを通じたスキル向上、お客さまに対する意識の向上は、日常業務においても活かされ、さらに社員のモチベーション向上にも寄与しています。

コンテストに向けた各基地における訓練による着実なスキルアップ

現場ならではの創意工夫

事故・故障などの処理時間短縮への取組（非常用の開口部活用による移動時間短縮、タイヤ交換などのお客さま支援）

巡回中に発見したポットホール（舗装損傷によるくぼみ）をその場で応急的に補修

< 参考データ >

	路上障害物処理件数	交通事故処理件数
平成 20 年度	128,352 件	12,598 件
平成 19 年度	130,585 件	13,412 件
平成 18 年度	125,462 件	13,650 件
1 日平均	約 351 件	約 36 件